

令和 3 年 4 月 28 日現在

機関番号：25502

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17K03073

研究課題名(和文) 東アジア印刷文化の複眼的研究 紙・墨・顔料などの特性分析を中心に

研究課題名(英文) Compound Eye Research on East Asian Printing Culture-Focusing on the Analysis of Characteristics of Paper, Ink, Pigments, etc.-

研究代表者

渡辺 滋 (Watanabe, Shigeru)

山口県立大学・国際文化学部・准教授

研究者番号：30552731

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究「東アジア印刷文化の複眼的研究 紙・墨・顔料などの特性分析を中心に」は、前近代の東アジア社会で生み出された各種の印刷史料を、最新の分析視角によって複眼的に分析する作業を通じ、その特質の解明を進めた。具体的には、日本国内では寺内文庫(山口県立大学)をはじめとする諸機関に所蔵される日本・中国・朝鮮の印刷史料を対象として、東アジア各地域の前近代の印刷史料を統一的な視点から分析した。その結果、各地域における印刷文化の特質と、地域毎の差異などが明確となった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来、この分野においては、地域毎・時代ごとに、個別の分析がなされるに止まっていた。そこで本研究では、印刷文化というものが、東アジア各地において、それぞれどのような特質をもって展開していたのか、その共通性を探るとともに、地域・時代ごとの違いについて、その社会的な背景にまで視野を広げた分析を進めることに成功した。その結果、印刷文化の発展を支える要素として、社会全体における経済的な発展や、識字層の広範な存在が必要であることなどが明らかとなった。

研究成果の概要(英文)：This research, "Compound Eye Research on East Asian Printing Culture-Focusing on the Analysis of Characteristics of Paper, Ink, Pigments, etc.-", is a compound eye of various printing historical materials produced in pre-modern East Asian society by the latest analytical viewpoint. Through the work of comprehensive analysis, we proceeded with the elucidation of its characteristics. Specifically, in Japan, pre-modern printing historical materials in each region of East Asia are unified, targeting printing historical materials of Japan, China, and Korea held by various institutions such as Terauchi Bunko (Yamaguchi Prefectural University). I analyzed it from various perspectives. As a result, the characteristics of printing culture in each region and the differences in each region were clarified.

研究分野：日本史

キーワード：史料学 印刷文化 出版 識字

## 1. 研究開始当初の背景

旧来の関連研究では、個別の地域、あるいは時代に限定された分析がほとんどで、相互に関連しているはずの地域間の相互影響や、他地域との比較という分析視角はあまり見られない状況が目立っていた。また現物調査の成果蓄積も不十分で、確実な史料に基づかない、噂話のようなレベルの言説も、一部で幅をきかせるような状況があった。

## 2. 研究の目的

以上のような研究の現状を踏まえると、従来細分化されていた個別の範囲に限定せず、東アジアの各地域・時代における出版文化の展開を、それぞれの個別的な背景や、地域間の相互関係もふまえて、総合的に分析する必要がある。

また上記のような問題点を改善するために、本研究では、1「研究開始当初の背景」で述べたような総体的・複眼的な研究を前提としつつ、そこに加えて、現物を対象とした調査、確実な史料に基づいた分析をモットーとして作業を進めていく必要性があった。

## 3. 研究の方法

そうした問題の解決のため、まずは地域時代を限定せずに、出版文化に関連する先行研究を精力的に整理分析した。また、この作業と並行して、日本各地に残るわが国で出版された和装本、あるいは朝鮮本（朝鮮半島で出版）・唐本（中国で出版）の現物調査を積極的に進めた。

研究期間の後半に生じたコロナ禍との関係で、国外における調査は実現しなかったが、こうした実際の現物調査成果を踏まえた分析成果と、関連する先行研究の成果、あるいは独自の関連史料分析の成果などもふまえ、従来では見えてこなかった様々な側面が解明できた。

## 4. 研究成果

以上のスタンスに沿って研究を遂行することで、など、東アジアの前近代における出版文化の特徴を総体的に解明することができた。そこからは、諸地域における出版文化の発展には、一定の共通する側面と、独自の傾向が存在することや、どの様な背景からそのような違いが生じたかなどについても、様々な知見が確認された。

とくに、以上のような全体の動向・傾向を踏まえたことで、朝鮮本の出版にかかる社会背景に関しては、当該期の経済力・人口・識字率など様々な社会的な要素まで含めた従来にない詳細な分析を実現できた。

なお研究成果の中核部分は、研究期間の終了後、今年度・来年度にかけて公表する予定だが、

昨年から今年初めにかけて、すでに数本の関連論文を公表したところである（詳細は別記）。



## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 渡辺 滋	4. 巻 48
2. 論文標題 寺内文庫の「朝鮮本」と「朝鮮館」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会事業史学会第48回大会 報告要旨集	6. 最初と最後の頁 137-143
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺 滋	4. 巻 85-8 - 12
2. 論文標題 黒田甲子郎の人生 新聞記者・政治家秘書・伝記作家などとして	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本古書通信	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺 滋	4. 巻 22
2. 論文標題 近代における朝鮮本の流通 日本との関わりを中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山口県立大学 大学院論集	6. 最初と最後の頁 77-91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺 滋	4. 巻 27
2. 論文標題 寺内正毅をめぐるイメージの拡散過程 寺内文庫とその収蔵品に関する問題を素材として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山口県立大学 国際文化学部紀要	6. 最初と最後の頁 21-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺 滋	4. 巻 69-2
2. 論文標題 書評：井上幸治著『古代中世の文書管理と官人』	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 古代文化	6. 最初と最後の頁 145-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計2件

1. 著者名 熱田神宮	4. 発行年 2017年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 328
3. 書名 熱田本日本書紀 第3冊	

1. 著者名 湯山賢一	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 896
3. 書名 文書料紙論叢	

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------